

いのちの言の葉2011

富山県教育委員会平成23年度いのちの教育総合支援事業

「ひまわりのよう」

魚津市立大町小学校

平成23年10月13日実施

【いのちの先生】

土井 和子先生

・元小学校教諭

【授業の概要】

- 1 事故にあって
- 2 リハビリの開始
- 3 絵を描く喜び
- 4 最後に

私は、土井先生の「力強く生きてください」という言葉が心に残りました。土井先生は、交通事故にあわれて車いすの生活になり、先生の仕事もできず、つらい思いをされたと思います。それでも、土井先生は、くじけずに力強く生きようと思ったので、「力強く生きてください。」という言葉が心に残っています。命の授業で、大切なことを教えてください、ありがとうございました。これからもすてきな詩や絵を書き続けてください。

今日は、わたしたちに、いのちのお話を聞かせてくださいありがとうございました。先生のお話を聞いて、一番心に残った言葉は、「朝に希望、昼に努力、夜に感謝」です。最初は、あまり分からなかつたけど、よく考えるとだんだん意味が分かつてきました。朝に希望は、毎日の朝に何が起きるかわからないけど、希望をもてという意味で、昼に努力は、たくさんのことについにチャレンジして失敗しても努力するという意味で、夜に感謝は、一日を楽しく過ごせたことに感謝するという意味だと思います。毎日、この言葉を思い出したいです。今日は、本葉にありがとうございました。お体に気をつけて元気にすごしてください。 ○○のお母さんより



ぼくが、いのちの授業で一番心に残ったことは、「ねばりんこ」という言葉です。先生は悲しい時をのりこえられて、幸せなことがあったので、自分も悲しいことがあってもがんばってねばれば、幸せが待っているのかなと思ったからです。また、ひまわりの絵も、とてきれいでした。これからも「ねばりんこ」という言葉を大切にしていきたいです。心に残るお話をありがとうございました。

